

# 担い手通信

JAバンクは地域の担い手を応援します

7

今月の話題

## 農業融資 2年連続増

# 17年度新規38886億円

JAバンク

**J**Aバンクの農業融資の新規実行額が2年連続で増えたことがこのほど、農林中央金庫の調査で分かりました。2017年度は前年度比12.6%増の38886億円で、目標に掲げていた35000億円を上回りました。農林中金の河野良雄前理事長は「これからも新規実行額を含め、農業融資残高が増え、シェアの挽回ができると思う」と述べ、今後の増加に手応えを示しました。

JAバンクは農業や地域に貢献しようと農業融資など農業金融を強化し、JA職員らが約8万人の担い手を対象に年に1回訪問する取り組みを展開しています。部門間で連携しながら資金需要の掘り起こしに取り組んでいます。

16年度の新規実行額は450億円(前年度比36.1%増)に続き、17年度はさらに拡大しました。減少傾向だった農業融資残高は16年度末に前年同期比で増転。17

年度末の残高は集計中です。

18年度の新規実行額の目標は3800億円に設定しました。農林中金の大竹和彦専務は「国内農業融資のシェアの維持をJAバンク中期戦略の3大目標の一つに掲げている。今年度も農業融資をしっかりとやっていく」と述べました。

国内にある約2万の農

7,246法人  
11.3%増  
(17年度)



業法人のうち、成長が見込まれる法人など、約1万人をリストアップ。17年度に金融取引したのは7246法人で同11.3%増でした。

今が旬  
この言葉

国産ジビエ  
認証制度

農水省が今年5月に制定した制度で、ジビエの安全性を保証する仕組み。一定の基準を満たした認定施設で処理したジビエは国の“お墨付き”としてロゴマークを付けて販売することができる。消費者や飲食店から寄せられるジビエの衛生面の不安を払拭(ふっしょく)し、消費拡大し農村振興につなげることを目指している。

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介いたします。

## 銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤を使用した温州ミカンの防除体系

三 重県農業研究所は、温州ミカン栽培で農薬使用回数制限の心配が少なく、薬剤抵抗性発達のリスクを低減可能な防除体系を検討しました。

黒点病に対する主要薬剤のマンゼブ水和剤は、使用回数が4回以内に制限されています。多雨などによる多発条件では防除回数が増えるため、使用回数に制限がない銅水和剤に置き換えます。チャノキイロアザミウマに対しては、通常は化学合成農薬による防除が行われていますが、多用による薬剤抵抗性が、アザミウマに対して同

図に示したように、慣行防除の1〜2回を銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤の混用に置き換えることで、黒点病とチャノキイロアザミウマに対して同等の防除効果が確認できました。今後は安定的な防除効果が得られる使用条件を解明し、実用性の高い防除体系を構築していきます。

図 銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤を使った防除体系

体系	5月		6月		7月		8月	
	下	上	中	下	上	中	下	上
慣行			オイル 殺菌剤 殺虫剤	殺菌剤 殺虫剤		殺菌剤 殺虫剤		殺菌剤 殺虫剤
銅+炭カル(1回)	オイル	銅 炭カル	殺菌剤 殺虫剤	殺菌剤 殺虫剤		殺菌剤 殺虫剤		殺菌剤 殺虫剤
銅+炭カル(2回)	オイル	銅 炭カル	殺菌剤 殺虫剤		銅 炭カル			殺菌剤 殺虫剤

※銅水和剤：塩基性硫酸銅23.0%（銅として12.9%）、1,000倍希釈  
炭酸カルシウム水和剤：類白色水和性粉末・45μm以下の製剤、50倍希釈

お問い合わせ先 三重県農業研究所 紀南果樹研究室 ☎ 05979-2-0008

## 県内NEWS

(日本農業新聞より)

### ■JA松阪 自己改革 寸劇で解説

JA松阪女性組織連絡協議会は5月中旬、JA本店で2018年の総会を開き、オープニングで、集まった189人の会員の前で女性組織役員らが自己改革寸劇を披露した。寸劇は、さまざまな研修などで他JAの事例を見てきたことで、「自分たちの組織でも取り組まなければ」という栃木千代会長の発案で披露することを決めた。台本は研修先で見聞きたものを参考にして、JA松阪の特産物などを取り入れてアレンジした。(2018/6/5 ワイド2東海)

### ■JA多気郡 スイートコーン テレビ取材相次ぐ

JA多気郡女性部のグループ「きずなクラブ」が考案した、地域特産のスイートコーンを使う「とうもろこしの包み蒸し」が、JA運営のレストラン「自然の味処すまいる」で人気だ。JA主催のスイートコーン料理コンテスト最優秀作品で好評なことから、東海や関西で放映するテレビ番組の取材が相次いだ。6月20日は東海テレビ「スイッチ!」のコーナー「わが街ご自慢めし!」で取り上げられた。(2018/6/20 ワイド1東海)

### ■JA三重南紀 かんきつ農家で青年部会

JA三重南紀管内の20〜40代のかんきつ生産者30人が6月12日、「JA三重南紀青年部会」を設立した。生産者、JA、行政が一体となった「オール三重南紀」の産地づくりを活動の中心とし、農業経営の安定化と産地の地位向上を図るため、人材確保・育成、園地の確保、技術伝承、PR活動を行っていく。初代会長に松本昌士さん(45)が就いた。担い手や営農組織の高齢化などを踏まえ、自分たちの産地を見つめ直そうと設立した。(2018/6/15 ワイド1東海)

明日の農業を担うみなさまへ  
JAバンクは地域農業を応援します!

農業を営むすべての方に

# 農業経営資金

対象期間/平成30年4月2日〜平成31年3月29日

農業者の皆様のご負担金利を**5年間軽減**いたします。

JAバンク利子補給制度(3年間)と  
当JA金利引き下げ(2年間)措置の対象となります。  
利子補給および金利引き下げの適用イメージ〜変動金利型の場合〜

(お借入金利) 変動金利 年1% - (JAバンク利子補給・金利引き下げ) 年0.8% = 実質年0.2% (5年間)

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>  
平成30年5月現在

※JAバンク利子補給・当JA金利引き下げ後のご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。  
※イメージは実際とは異なる場合がございます。詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。  
※JAバンク保証料助成により、実質保証料が0円となります。